

## 薬剤師のお仕事

### 薬剤師はどこでどんな仕事をするの？

薬剤師は、医療関係者・組織に対する国民の信頼感という調査で、もっとも信頼度が高いという結果が示されています(「日本の医療に関する2009年世論調査」)。就業場所としては薬局や病院・診療所が大半を占めますが、中には厚生労働省や自衛隊で働く薬剤師もいます。薬剤師法第一条により、国民の健康のために①調剤②医薬品の供給③薬事衛生、という重要な任務を担っているのです。

#### 【薬局で働く薬剤師の仕事】

医師や歯科医師の診療を受けると処方箋が交付されます。薬局薬剤師は処方箋を確認し、不明なことは医師や歯科医師に疑義照会をします。その後、調剤、服薬指導を経て患者さんへ薬が渡ります。飲み合わせや服用量、副作用などを確認するのも薬局薬剤師の重要な仕事で、細かくチェックを行うことで患者さんの安全を守っているのです。

また、薬局に行くことが難しい患者さんにも同じサービスを提供するため、訪問薬剤管理・在宅療養管理指導など在宅医療も行なっています。

その他、環境検査として、学校などのプール水検査や水道水検査、給食室検査、空気(二酸化炭素)検査も行います。病気や健康に関する意識を高めてもらうため、安全な薬の飲み方や使い方の指導など健康セミナー・地域イベントにも参加しています。

#### 【病院で働く薬剤師の仕事】

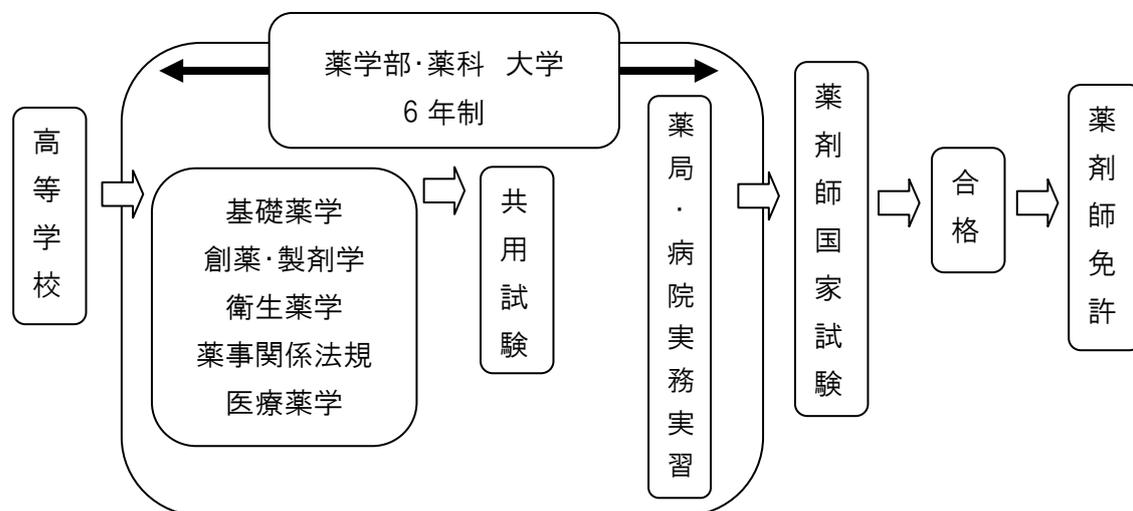
病院薬剤師は、調剤、製剤、注射剤・抗がん剤の調製、医薬品の管理と供給、服薬説明(外来・入院)、カンファレンスへの参加、治験管理などを行ない、医薬品・薬物療法に関わるさまざまな業務に携わっています。医薬品として販売されていない薬の製剤や患者さんの病室で服薬説明を行うことも業務の一例です。

患者さんを中心に、医師、看護師、薬剤師、栄養士など多職種が連携し治療を行う「チーム医療」など、活躍の場は広がっています。

また、認定・専門薬剤師として、がん専門薬剤師や精神科専門薬剤師など、より専門性の高い知識や技術を備えた薬剤師も養成されています。

## 薬剤師になるためには？

薬剤師になるためには、6年制の薬学教育を受ける必要があります。基礎薬学や衛生薬学などの基礎科目を学び、それぞれ2.5カ月の病院・薬局実務実習を経て卒業し、薬剤師国家試験に合格することで薬剤師免許が取得できます。薬剤師であれば、申請だけで取得可能な資格もあります。



## 薬剤師にアンケート！

Q、薬剤師になりたいと思ったきっかけは何ですか？

- ・実習で自分が想像していた以上の仕事をしている薬剤師の姿を見た。
- ・薬について幅広い知識を身につけることができる。
- ・多職種と連携して患者さんにかかわっていきたいと思った。

Q、あなたのやりがいは何ですか？

- ・医療スタッフや患者さんから感謝していただける瞬間。
- ・患者さんに最善の医療を提供できるように考え、薬学的介入をすること。
- ・患者さんが治療で元気になる姿を間近で感じられること。

Q、薬剤師になって大変なことは何ですか？

- ・たくさんの診療科があるため、薬について幅広い知識を身につけていかなければならないこと。
- ・多職種とコミュニケーションをとること。
- ・業務と研究の両立。
- ・日々新しい薬を覚えていかなければならないこと。

薬剤師は、患者様の薬物療法が  
適正かつ安全に行われるよう、  
様々な業務に携わっています。

—お勧めの本—

🌸「薬剤師のひみつ」🌸

WILL こども知育研究所 2016年

🌸「薬学教室へようこそ」🌸

二井将光編著 2015年

分館に所蔵があります